

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

岐阜県下呂市 下呂市立金山病院

| 法適用区分  | 業種名・事業名 | 病院区分    | 類似区分         | 管理者の情報     |
|--------|---------|---------|--------------|------------|
| 当然財務   | 病院事業    | 一般病院    | 50床以上～100床未満 | 非設置        |
| 経営形態   | 診療科数    | DPC対象病院 | 特殊診療機能 ※1    | 指定病院の状況 ※2 |
| 直営     | 11      | -       | ド透訓          | 救へ輪        |
| 人口（人）  | 建物面積（㎡） | 不採算地区病院 | 不採算地区中核病院    | 看護配置       |
| 28,915 | 6,954   | 第2種該当   | -            | 10:1       |

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

| 許可病床（一般）   | 許可病床（療養）   | 許可病床（結核）      |
|------------|------------|---------------|
| 50         | -          | -             |
| 許可病床（精神）   | 許可病床（感染症）  | 許可病床（合計）      |
| -          | -          | 50            |
| 最大使用病床（一般） | 最大使用病床（療養） | 最大使用病床（一般+療養） |
| 29         | 22         | 51            |

| グラフ凡例 |              |
|-------|--------------|
| ■     | 当該病院値（当該値）   |
| —     | 類似病院平均値（平均値） |
| [ ]   | 令和6年度全国平均    |

## 経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

| 機能分化・連携強化<br>(従来の再編・ネットワーク化を含む) | 地方独立行政法人化 | 指定管理者制度導入 |
|---------------------------------|-----------|-----------|
| -                               | -         | -         |
| 年度                              | 年度        | 年度        |

## I 地域において担っている役割

南飛騨地域の中核病院である下呂温泉病院から約30km南に位置し、この地域における医療提供体制を整え、誰もが安心・安全に暮らせる拠点として機能しています。

令和2年度からは発熱外来診療を開設し、現在も継続し診療・検査医療機関としての役割を果たしています。また、へき地に所在することから、公立病院に求められる救急医療、へき地医療、および小児医療の機能を維持するとともに、当院では対応が難しい救急搬送や急性期疾患の症例については、岐阜県立下呂温泉病院、岐阜県総合医療センター、および岐阜大学医学部付属病院等と連携し、地域の医療を支えています。

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

夜勤が出来る看護師が減ったことで令和7年3月1日から療養病棟を閉鎖しました。そのため入退院調整等を行ったことなどから病床利用率が下がり大きな減収となりました。収益の減収に伴い、資金不足となることから最終的に市一般会計から250,000,000円の追加繰入を受けました。

現在の体制は、2病棟（99床）の稼働を前提とした職員配置のままとなっており、職員の平均年齢も年々上がっているため、人件費が経営を圧迫しています。今後は、1病棟（50床）の稼働を踏まえ、地域の需要に見合った病床機能の見直し等について、検討を進めることとし、職員の定員管理の適正化に努めます。

### 2. 老朽化の状況について

建物については平成24年に新築し13年ほど経過しており、空調設備などの施設機器の故障が発生してきています。また、医療機器等については、旧病院から引き継いで使用しているものもあり、経年劣化による更新が必要となってきています。

このことから、施設機器については保守点検を重視しながら修繕を行い、医療機器購入に当たっては、収支バランスを踏まえながら計画的な更新を行っていきます。

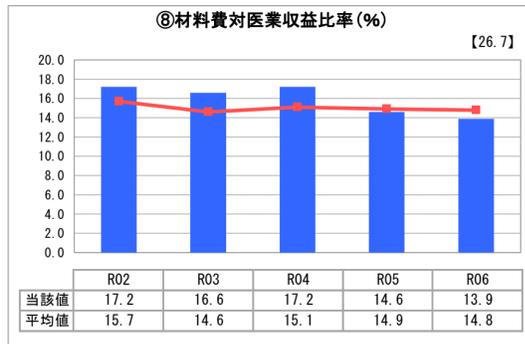
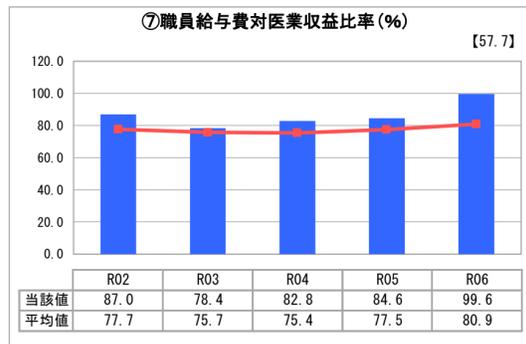
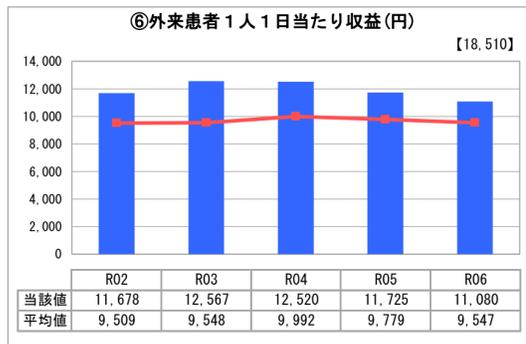
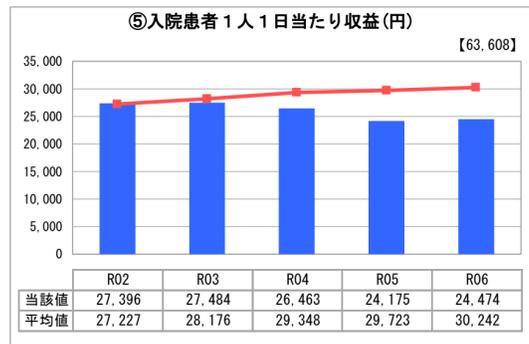
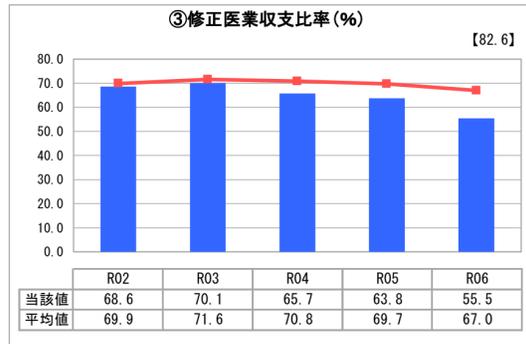
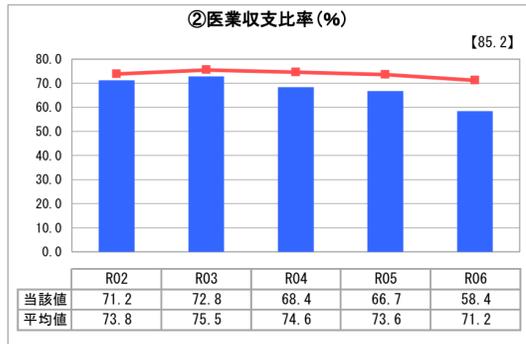
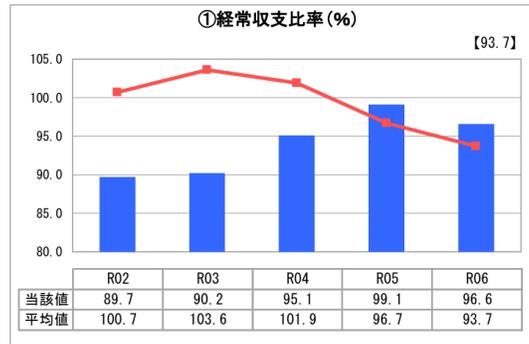
## 全体総括

夜勤可能な看護師の減による令和7年3月1日からの療養病棟の閉鎖や、診療圏における75才以上人口（後期高齢者）の増による患者数の減少などにより、外来診療収入及び入院診療収入が減少し、加えて、電気料金などの物価及び人件費の高騰などにより、経費が増加することで非常に厳しい病院経営となりました。これに対応するため、市一般会計から250,000,000円の追加繰入を受けました。

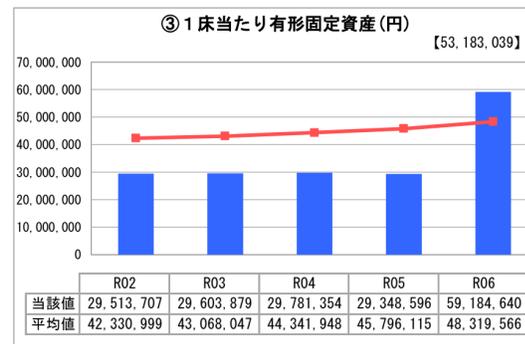
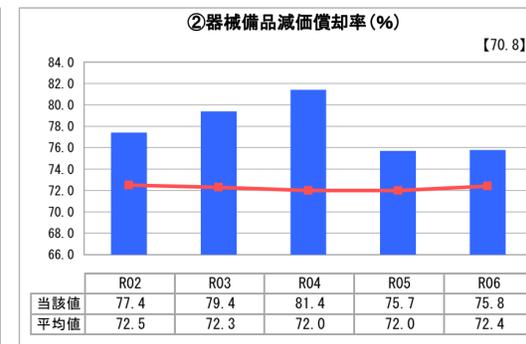
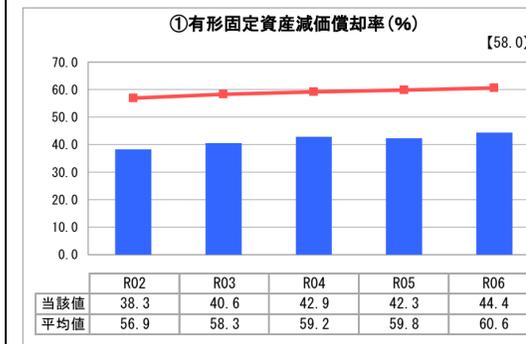
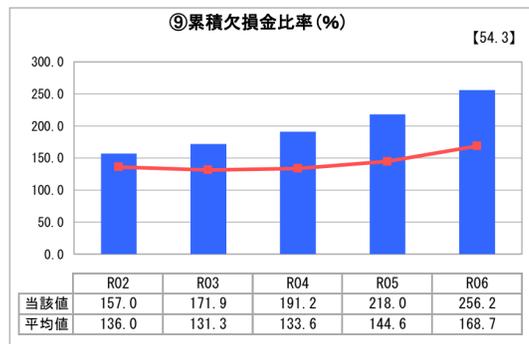
市立病院としての使命を認識し、一般医療のほか救急医療、新型コロナウイルス感染症の発熱外来や急性期病院からの患者受入病院としての後方支援を行うなど、地域医療の貢献に努めているところです。

非常に厳しい経営状況の中、令和5年度に策定し、令和6年度に改訂した公立病院経営強化プランの基本的な考え方を踏まえ、病院・病床機能の見直しや新規事業参入などの検討を行いながら中長期的な方向性を定め、安心して医療を受けることができる持続可能な病院運営を目指しています。

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



※ 「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。